

いさやま大介



プロフィール

教員の両親から生まれる。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。
神戸大学発達科学部を卒業。
灘区の松蔭中学と神戸海星中学・高校で、合計18年間、理科と化学を教える。
神戸市中学校体育連盟にて、水泳競技理事および灘区・東灘区ブロック長を務める。
近畿カトリック水泳連盟の世話係を10年間務める。
現在、神戸市水泳協会副会長と地域子ども水泳教室のコーチを務める。
地元少年野球部の元コーチ。

2015年4月の神戸市会選挙に灘区から出馬、8,127票をいただき初当選。
総務財政委員会所属。
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。



民進党神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館 29階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.11

平成30年度当初予算案に対し、会派を代表して質疑しました。

フリースクール等と連携した不登校対策の充実を!

平成28年度に年間30日以上欠席した市内の不登校の児童生徒は、小中併せて1230人。(適応指導教室に177人、フリースクールに38人通級)
「教育機会確保法」の趣旨を踏まえた、今後の不登校対策について質疑。

現状の神戸市の不登校対策は、

- ・ スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの増員により相談体制を強化。
- ・ 不登校児童生徒の受け入れを行っている「適応指導教室」を分室を含めて8か所設置。
- ・ フリースクールに通っている場合には、訪問し状況を把握してから出席認定など。

「教育確保法」の主な趣旨は、

不登校は問題行動ではない／学校以外の場も重要である／登校が困難な場合は休養の必要性を認める
不登校支援に関する協議の場を組織することができる、など。



↑平成30年2月 代表質疑

『フリースクールなどとの連絡協議会』の設置を要望

⇒ 連携や協議の場のあり方について検討する（教育委員会）とのこと